

アジア村をつくろう

1. はじめに

これからの福岡市は、九州全体とアジア諸国をうまく融合させることで文化的にも経済的にもアジアの中心として立派なリーダーとならなければならない。

それにはまず後継者不足で苦しんでいる山間地や漁村など、衰退するばかりの地方を生き返らせねばならない。福岡市と田舎のパイプをもっと太くして、第1次産業に命をかける若者が夢を語れるような九州にしなければならない。

農業や流通の生産性をあげ、福岡などの大都市に安全な国産品を流通させたい。

開かれた福岡市は、アジア諸国との様々な文化・人材・商品の交流を積極的に行う事により、お互いに、よりよい結果を生み出すよう努めよう。

福岡空港移転計画が取りざたされた折、日本の人口が減少する事以上にアジア各国からの旅行者が大変多くなるので、それを考慮した空港計画であるべきだとの意見がだされた。

飛躍的にアジアからのお客さんたちが増加するのです。

九州を活性化すると同時に、時代に取り残されないようにアジアにも目を向けて物事を考えて生きたい。

それには地の利として、抜群のこの福岡市に『アジア村』をつくりたい。

場所は、六本松（九大跡地）が最高だ。広い土地もある。アクセスも超便利だ。

博多駅からはバス利用で乗り換えなしで行くことができる。高速道路も近くのジャンクションを利用すればいい。飛行場からは地下鉄で天神乗り換えか、もしくは西新まで行ってバスに乗り換えてもいい。港からはバス利用で乗り換えなしでいける。

跡地は、後方半分は高等裁判所が新しく建物を建設する事になっているようだが、前方は未定だ。いまさらマンションを建てて魅力のない町にしてもなにも生み出さない。

ここに『アジア村』をつくろう。

2. アジア各国、九州各地のアンテナショップを！

まず九州を活性化させるためのプロジェクトを立ち上げたい。

各県の町や村のアンテナショップを開く。

それぞれの得意な物産品・料理・見所・年行事などの紹介宣伝をする。

デパートなどでは物産展が開かれているが、六本松のは本物だ。いつでも地方の安全な作物や加工品が購入できる。どこかの倉庫で化学薬品を混ぜて「もどき商品」を売る事はない。それぞれが責任を持って本物を提供するようにする。約束に違反したら直ちに撤去させる。我々の健康を守るために。

そして、月替わりで土地々々の懐かしい料理を食べられるようにすると楽しい。田舎料理講習会も楽しいだろう。

それぞれのショップで、魅力的な景観や年行事・宿・料理・おもしろい人物を紹介す

るなど積極的に誘ったらいい。お仕着せの旅に飽きた高齢者達の旅人がふえるだろう。

- 天神にある、東北みちのくアンテナショップは大賑わい
- 島根県は荒戸に進出済み。
- 長崎・佐世保・雲仙3市合同アンテナショップは22年10月までに上川端に進出予定

アジア諸国からも勿論アンテナショップを出して貰う。

一番人気の韓国からは美味しいキムチや焼肉料理店が出来ると喜ばれる。

珍しいカンボジアの織物は芸術の域に達しているが、このような本格的なものが展示されれば、“安かろう、悪かろう”に毒されている日本人の意識にも変化が現れるだろう。

優れた文化や物が紹介される事で、我々日本人も大いに刺激を受ける。新しいアイデアも出てくるであろう。エキゾチックな工芸品は我々の生活を豊かにしてくれるし、フェアトレード商品があると好ましい。

文化と人と物がうまく溶け込めば最高ではないか。

アジアは面白い。ベトナム、シンガポール、マレーシア、インド、スリランカ、インドネシア、中国などなどの国も日本と縁が深い。アジアの珍しい食材を購入したり、料理を学んだり、食文化交流は皆が1番喜ぶ方法だ。

地方の郷土食・日本のラーメン屋台・各国の料理店・屋台などが競いあう事で、今人気の「B1グランプリ」もアジア村で開催できる。ここで優勝したら、経済効果も期待できる。ありきたりの味ではなく最高の料理がここで味わえる。



3 . NPO,NGO の活躍する場を提供しよう！

現在福岡市には 数え切れないほどのNPO団体やNGO団体などが活躍している。大きな事務所を構えている恵まれたところもあれば、個人の自宅を事務所にして活躍しているところもある。

お手伝いをしたい人は、積極的に調べて訪ねていかなければならない。これらが全部この六本松にあったら、自分に向いているNPOやNGOが簡単に調べられるので、気軽に参加する人が増加する。寄付金でまかなわれているNGO団体などは、協賛者が増える事はとても有難いではないか。

同じ場所にあることで横との連携も生まれ、より良い活動が出来るようになる。

外務省などの強力な組織の協力も得られるだろう。外務省では様々な取り組みをして

いる。

8月にはアクロスで「NGO 企業パートナーシップ in 福岡」が開催された。福岡市では先月アジアマンスが開催されて大いに賑わった。

年に1度 市内で外務省・外郭団体・県・市・主催で NGO祭りが行われる。世界中の留学生達が集い、交流を深めている。

10月6日は「国際協力の日」だ。

10月3日から日比谷公園で『グローバルフェスタ』が開催される。

このような行事をこの『アジア村』で開催したらいい。

大きな国際会議は、アクロスや近隣の中村大学、福岡大学などをかりればいい。

4. アジア村の恩恵は果てしなく！

「アジア村」に来た人たちは、国産の新鮮な野菜や魚介類加工品を安心して購入出来る。そして地方の珍しい食べ物や懐かしいふるさとの食材も購入出来る。

埋もれた芸術品工芸品なども多くの人たちの目に触れる事が出来るようになる。

その上、アジアの珍しい本場の食材なども購入できて、珍しいエキゾチックな工芸品なども手に取ることが出来る。フェアトレード商品があると好ましい。

何より嬉しいのは、アジア屋台、ラーメン屋台、郷土料理店での食事だろう。

ここには、ショップばかりではなく、日本人や海外のミュージシャンのミニコンサート、路上ライブ、ミニ映画館（普通の映画館で上映されない映画を上映） 展覧会場（誰もが使用できる）があり、風紀を乱さないと判断されたものが開催される。

5. 地元のみみんなも喜び楽しむ

広い子供の遊び場も作られる。世田谷公園の一角にはワイルドな遊び場がある。林のように大木が何十本も植えられており、本格的なボーイスカウトの訓練が出来る。ボランティアの指導者がついて、安全に遊べるような配慮がされている。これからは高齢者たちにこのようなお世話を御願いしよう。

読書好きの人のために図書館も必要だ。福岡市では本格的な図書館は車やバスに乗って時間をかけていかなければならない。近場の図書館で借り入れは出来るが、やはり手にとって確かめて借りたいものだ。

日本人も海外のお客さんも利用できる シャワー・トイレ・洗面所つきの簡素で清潔な部屋を準備する。食事は一步出ればお店が沢山並んでいるので自由に好きなものを食べればいい。

6. 治安とボランティア

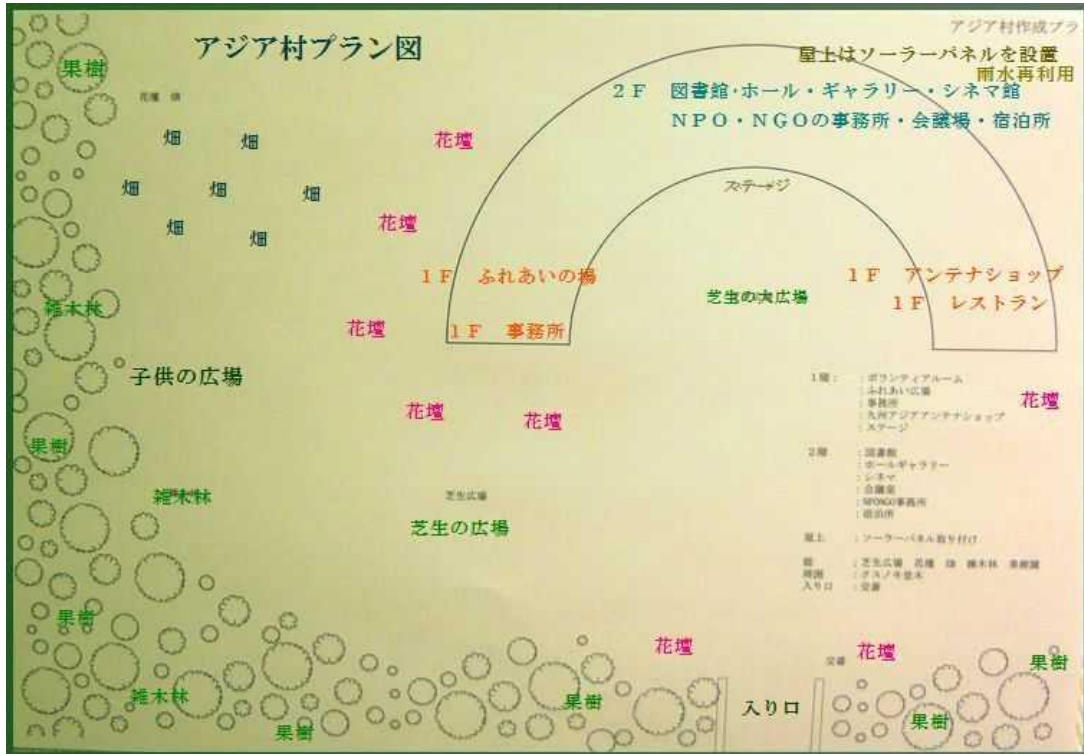
これから治安は大事な問題だ。

村の中心に『ポリスボックス』を設置して貰う。24時間交代制で見守って貰おう。

この隣にはここを運営する事務所を置く。近くに語学に堪能なボランティアの通訳さんたちに待機してもらい 交代で働いて貰う。海外からのお客さんたちの旅の相談を受けたりする。また、地方から出てきた人たちの相談相手にもなって貰おう。ここは近

所の高齢者達が集える場でもある。外に出て色々な人たちと交流をする事で、楽しい人生が送れるだろう。

高齢者がどんどん増加していく。引きこもり老人達を増やさないためにも、積極的に参加者を増やして、ボランティア活動をして貰おう。店番でも、掃除でも、旅人との交流でも自分の得意分野を受け持って貰えばいい。



このように1人1人が関心を持てば、福岡市での「アジアカ村」建設も実現できるのではなかろうか。

『アジアカ村』に行くと面白い！大人も子供も高齢者も皆楽しめるよ。と皆さんに言って貰えるような『アジアカ村』を建設しよう！